



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月2日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4044 URL http://www.cgco.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 皿澤 修一
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 河部 守弘 TEL 03-3259-7062
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	142,638	3.4	7,887	14.9	10,182	12.9	7,181	94.9
26年3月期第3四半期	137,947	9.8	6,863	12.3	9,015	18.3	3,684	△19.1

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 13,988百万円 (26.7%) 26年3月期第3四半期 11,044百万円 (95.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	34.33	—
26年3月期第3四半期	17.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	267,478	148,393	54.7
26年3月期	241,233	135,185	55.3

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 146,221百万円 26年3月期 133,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
27年3月期	—	4.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	193,000	0.7	9,000	△11.0	9,000	△23.2	6,500	29.9	31.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	214,879,975株	26年3月期	214,879,975株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	5,703,971株	26年3月期	5,682,329株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	209,192,686株	26年3月期3Q	209,224,017株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税による駆け込み需要の反動などから落ち込んだ個人消費の回復には弱さが見られましたが、企業収益は円安や原油安の影響により、改善の動きが見られる企業もあり、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、世界経済は、米国は堅調に推移しているものの、新興国の成長鈍化や地政学的リスク、政府債務問題などによる欧州の景気低迷など、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは需要の落ち込みを吸収すべく積極的な販売活動を展開いたしました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は142,638百万円と前年同期比3.4%の増加となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりました結果、経常利益は前年同期比1,166百万円増加の10,182百万円となり、四半期純利益は前年同期比3,496百万円増加の7,181百万円となりました。

セグメント別の概況

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、消費増税による駆け込みの反動などから、建築需要が前年を下回る水準で推移しましたため、売上高は前年同期を下回りました。

自動車用ガラスにつきましては、国内は消費増税の影響を受けたものの、軽自動車の販売好調により前年並みとなりましたが、北米市場の需要増加により販売が伸長したことや為替の影響などから、売上高は前年同期を上回りました。

電子材料用ガラスにつきましては、タッチパネル用関連製品の需要減少などにより、売上高は前年同期を下回りました。

以上、ガラス事業の売上高は79,612百万円(前年同期比5.1%増)となり、損益につきましては5百万円の営業損失(前年同期比591百万円の改善)となりました。

(化成品事業)

化学品につきましては、主力製品の出荷が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

ファインケミカルにつきましては、医薬関連製品の出荷は減少しましたが、リチウムイオン電池用電解液製品の販売増加や半導体関連製品が好調に推移しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

肥料につきましては、消費増税による駆け込み需要の反動などにより出荷が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

ガラス繊維につきましては、電子材料向けや自動車用途向けの販売が好調に推移しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

以上、化成品事業の売上高は63,026百万円(前年同期比1.3%増)となり、損益につきましては7,896百万円の営業利益(前年同期比431百万円増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は267,478百万円となり、平成26年3月末に比較しまして26,245百万円増加しました。主な増加要因は、投資有価証券の時価の上昇などにより、固定資産が23,394百万円増加したことによるものです。

負債は119,085百万円となり、13,037百万円増加しました。主な増加要因は、社債の発行などにより固定負債が20,299百万円増加したことによるものです。

純資産は148,393百万円となり、自己資本比率は、0.6%減少し54.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間につきましては、円安の影響等による営業外収益が増加しておりますが、通期の業績予想につきましては、年初想定範囲内の乖離であるため修正しておりません。この業績予想は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直ししていくこととしております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が676百万円増加、退職給付に係る負債が429百万円減少し、利益剰余金が714百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,557	15,665
受取手形及び売掛金	44,006	46,811
商品及び製品	24,551	28,365
仕掛品	1,598	2,142
原材料及び貯蔵品	11,985	11,195
その他	5,050	6,327
貸倒引当金	△269	△176
流動資産合計	107,480	110,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,697	21,918
機械装置及び運搬具(純額)	34,449	33,143
土地	24,755	24,805
建設仮勘定	2,646	4,808
その他(純額)	2,752	2,243
有形固定資産合計	86,301	86,919
無形固定資産		
のれん	202	168
その他	876	730
無形固定資産合計	1,079	899
投資その他の資産		
投資有価証券	41,201	62,366
その他	5,474	7,280
貸倒引当金	△305	△318
投資その他の資産合計	46,371	69,328
固定資産合計	133,752	157,147
資産合計	241,233	267,478

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,009	20,228
短期借入金	30,045	22,805
未払法人税等	2,338	976
賞与引当金	1,410	387
その他	18,778	19,922
流動負債合計	71,582	64,321
固定負債		
社債	10,400	20,400
長期借入金	4,298	11,943
役員退職慰労引当金	30	26
特別修繕引当金	3,718	3,937
環境対策引当金	154	146
退職給付に係る負債	8,663	8,240
その他	7,199	10,068
固定負債合計	34,464	54,764
負債合計	106,047	119,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,117	8,117
利益剰余金	97,295	103,517
自己株式	△2,853	△2,862
株主資本合計	120,727	126,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,659	19,804
繰延ヘッジ損益	△49	△595
為替換算調整勘定	△397	423
退職給付に係る調整累計額	△520	△352
その他の包括利益累計額合計	12,691	19,280
少数株主持分	1,766	2,172
純資産合計	135,185	148,393
負債純資産合計	241,233	267,478

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	137,947	142,638
売上原価	106,016	108,503
売上総利益	31,931	34,134
販売費及び一般管理費	25,068	26,247
営業利益	6,863	7,887
営業外収益		
受取利息	9	14
受取配当金	590	717
持分法による投資利益	—	213
為替差益	1,283	1,416
その他	1,709	1,469
営業外収益合計	3,592	3,831
営業外費用		
支払利息	364	304
持分法による投資損失	93	—
製造休止損失	79	392
その他	902	839
営業外費用合計	1,440	1,536
経常利益	9,015	10,182
特別利益		
固定資産売却益	469	46
投資有価証券売却益	101	—
負ののれん発生益	44	—
特別利益合計	615	46
特別損失		
減損損失	3,482	—
投資有価証券売却損	59	—
投資有価証券評価損	11	—
特別損失合計	3,553	—
税金等調整前四半期純利益	6,076	10,228
法人税等	2,335	2,848
少数株主損益調整前四半期純利益	3,741	7,380
少数株主利益	56	198
四半期純利益	3,684	7,181

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,741	7,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,884	6,154
繰延ヘッジ損益	△174	△545
為替換算調整勘定	1,430	765
退職給付に係る調整額	—	168
持分法適用会社に対する持分相当額	162	65
その他の包括利益合計	7,303	6,608
四半期包括利益	11,044	13,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,897	13,769
少数株主に係る四半期包括利益	147	218

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	75,741	62,206	137,947	—	137,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	1,734	1,742	△1,742	—
計	75,749	63,940	139,690	△1,742	137,947
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△597	7,464	6,867	△4	6,863

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	79,612	63,026	142,638	—	142,638
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	1,674	1,689	△1,689	—
計	79,627	64,700	144,328	△1,689	142,638
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△5	7,896	7,891	△3	7,887

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。